




OptiPlex 3030 All-in-One オーナーズマニュアル

規制モデル： W10B
規制タイプ： W10B001



メモ、注意、警告

-  **メモ:** コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。
-  **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。
-  **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

Copyright © 2014 Dell Inc. All rights reserved. この製品は、米国および国際著作権法、ならびに米国および国際知的財産法で保護されています。Dell™、およびデルのロゴは、米国および/またはその他管轄区域における Dell Inc. の商標です。本書で使用されているその他すべての商標および名称は、各社の商標である場合があります。

2014 - 06

Rev. A00

目次

1 コンピューター内部の作業	5
コンピュータ内部の作業を始める前に.....	5
奨励するツール.....	6
コンピュータの電源を切る.....	6
コンピュータ内部の作業を終えた後に.....	7
2 システムの概要	8
システム基板のレイアウト.....	9
3 コンポーネントの取り外しと取り付け	11
スタンドの取り外し.....	11
スタンドの取り付け.....	11
背面カバーの取り外し.....	11
背面カバーの取り付け.....	12
オプティカルドライブの取り外し.....	12
オプティカルドライブの取り付け.....	13
ハードドライブの取り外し.....	13
ハードドライブの取り付け.....	15
コンバータボードの取り外し.....	15
コンバータボードの取り付け.....	16
メモリの取り外し.....	16
メモリの取り付け.....	17
システム基板シールドの取り外し.....	17
システム基板シールドの取り付け.....	18
ヒートシンクの取り外し.....	18
ヒートシンクの取り付け.....	19
スピーカの取り外し.....	19
スピーカの取り付け.....	21
VESA ブラケットの取り外し.....	22
VESA ブラケットの取り付け.....	22
システムファンの取り外し.....	22
システムファンの取り付け.....	23
電源スイッチボードの取り外し.....	23
電源スイッチボードの取り付け.....	24
システム基板の取り外し.....	24
システム基板の取り付け.....	26
ディスプレイブラケットの取り外し.....	27
ディスプレイブラケットの取り付け.....	28


カメラの取り外し.....	29
カメラの取り付け.....	30
マイクの取り外し.....	30
マイクの取り付け.....	31
4 システムセットアップ.....	32
起動順序.....	32
ナビゲーションキー.....	32
セットアップユーティリティのオプション.....	33
BIOS のアップデート	42
システムパスワードおよびセットアップパスワード.....	43
システムパスワードおよびセットアップパスワードの割り当て.....	43
既存のシステムパスワードおよび / またはセットアップパスワードの削除または変更.....	44
5 仕様.....	46
6 デルへのお問い合わせ.....	51
デルへのお問い合わせ.....	51


コンピューター内部の作業


コンピュータ内部の作業を始める前に


コンピュータの損傷を防ぎ、ユーザー個人の安全を守るため、以下の安全に関するガイドラインに従ってください。特記がない限り、本書に記載される各手順は、以下の条件を満たしていることを前提とします。


- コンピュータに付属の「安全に関する情報」を読んでいること。
- コンポーネントは交換可能であり、別売りの場合は取り外しの手順を逆順に実行すれば、取り付け可能であること。


 **警告:** すべての電源を外してから、コンピュータカバーまたはパネルを開きます。コンピュータ内部の作業が終わったら、カバー、パネル、ネジをすべて取り付けてから、電源に接続します。


 **警告:** コンピュータ内部の作業を始める前に、コンピュータに付属の「安全に関する情報」に目を通してください。安全に関するベストプラクティスについては、規制コンプライアンスに関するホームページ (www.dell.com/regulatory_compliance) を参照してください。

 **注意:** 修理作業の多くは、認定されたサービス技術者のみが行うことができます。製品マニュアルで許可されている範囲に限り、またはオンラインサービスもしくは電話サービスとサポートチームの指示によってのみ、トラブルシューティングと簡単な修理を行うようにしてください。デルで認められていない修理（内部作業）による損傷は、保証の対象となりません。製品に付属しているマニュアルの「安全にお使いいただくために」をお読みになり、指示に従ってください。

 **注意:** 静電気による損傷を避けるため、静電気防止用リストバンドを使用するか、またはコンピュータの裏面にあるコネクタなどの塗装されていない金属面に定期的に触れて、静電気を身体から除去してください。


 **注意:** コンポーネントとカードは丁寧に取り扱いってください。コンポーネント、またはカードの接触面に触らないでください。カードは端、または金属のマウンティングブラケットを持ってください。プロセッサなどのコンポーネントはピンではなく、端を持ってください。

 **注意:** ケーブルを外す場合は、ケーブルのコネクタかプルタブを持って引き、ケーブル自体を引っ張らないでください。コネクタにロックタブが付いているケーブルもあります。この場合、ケーブルを外す前にロックタブを押さえてください。コネクタを引き抜く場合、コネクタピンが曲がらないように、均一に力をかけてください。また、ケーブルを接続する前に、両方のコネクタが同じ方向を向き、きちんと並んでいることを確認してください。

 **メモ:** お使いのコンピュータの色および一部のコンポーネントは、本書で示されているものと異なる場合があります。


コンピュータの損傷を防ぐため、コンピュータ内部の作業を始める前に、次の手順を実行してください。

1. コンピュータのカバーに傷がつかないように、作業台が平らであり、汚れていないことを確認します。
2. コンピューターの電源を切ります（「コンピューターの電源を切る」を参照）。

 **注意:** ネットワークケーブルを外すには、まずケーブルのプラグをコンピュータから外し、次にケーブルをネットワークデバイスから外します。

3. コンピュータからすべてのネットワークケーブルを外します。

4. コンピュータおよび取り付けられているすべてのデバイスをコンセントから外します。
5. システムのコンセントが外されている状態で、電源ボタンをしばらく押して、システム基板の静電気を除去します。
6. カバーを取り外します。


 **注意:** コンピュータの内部に触れる前に、コンピュータの裏面など塗装されていない金属面に触れ、静電気を除去します。作業中は定期的に塗装されていない金属面に触れ、内部コンポーネントを損傷する恐れのある静電気を放出してください。





奨励するツール

この文書で説明する操作には、以下のツールが必要です。

- 細めのマイナスドライバー
- プラスドライバー
- 小型のプラスチックスクライブ

コンピューターの電源を切る

 **注意:** データの損失を防ぐため、コンピューターの電源を切る前に、開いているファイルはすべて保存して閉じ、実行中のプログラムはすべて終了してください。

1. オペレーティングシステムをシャットダウンします。
 - Windows 8 では:
 - タッチパネル入力を有効にするデバイスの用法:
 - a. 画面の右端からスワイプ入力し、チャームメニューを開き、**Settings**（設定）を選択します。
 - b.  を選択し、続いて**シャットダウン**を選択します。
 - マウスの用法:
 - a. 画面の右上隅をポイントし、**Settings**（設定）をクリックします。
 - b. ライセンス情報を展開または折りたたむには、 続いて **Shut down**（シャットダウン）を選択します。
 - Windows 7 の場合 :
 1. **スタート** をクリックします。  をクリックします。
 2. **Shut Down**（シャットダウン）をクリックします。または
 1. **スタート** をクリックします。  をクリックします。

2. 下に示すように **Start** (開始) メニューの右下隅の矢印をクリックして、**Shut Down** (シャウ



ウダウン) をクリックします。

2. コンピューターと取り付けられているデバイスすべての電源が切れていることを確認します。オペレーティングシステムをシャットダウンしてもコンピューターとデバイスの電源が自動的に切れない場合、電源ボタンを 6 秒間押したままにして電源を切ります。

コンピューター内部の作業を終えた後に

交換 (取り付け) 作業が完了したら、コンピューターの電源を入れる前に、外付けデバイス、カード、ケーブルなどが接続されていることを確認してください。

1. カバーを取り付けます。

△ 注意: ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルをネットワークデバイスに差し込み、次にコンピューターに差し込みます。

2. 電話線、またはネットワークケーブルをコンピューターに接続します。
3. コンピューター、および取り付けられているすべてのデバイスをコンセントに接続します。
4. コンピューターの電源を入れます。
5. 必要に応じて Dell 診断を実行して、コンピューターが正しく動作することを確認します。

システムの概要

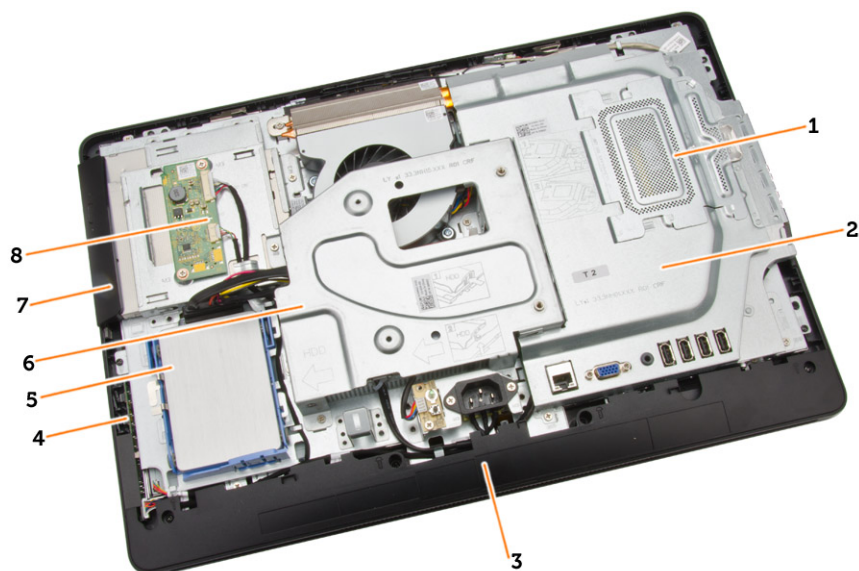


図 1. 内面図 -1

1. メモリシールド
2. システム基板シールド
3. 底部カバー
4. 電源スイッチボード
5. ハードドライブ
6. VESA ブラケット
7. オプティカルドライブ
8. コンバータボード

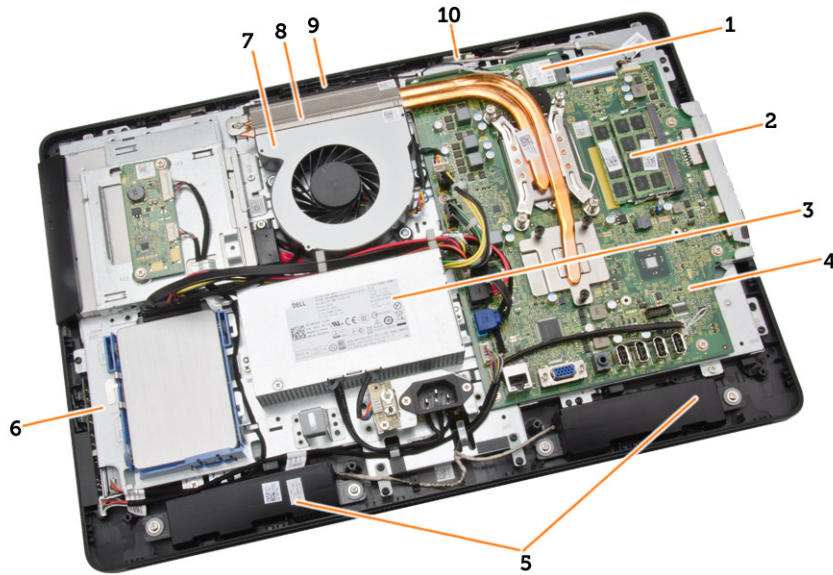
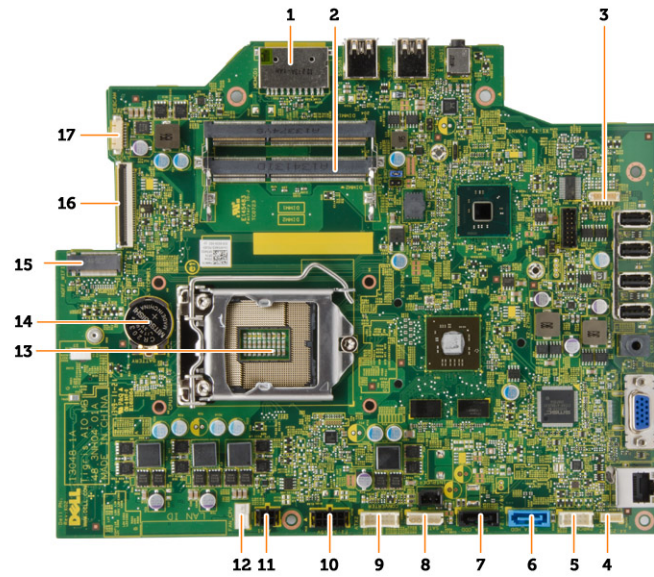


図 2. 内面図 -2

1. WLAN カード
2. メモリモジュール
3. 電源ユニット
4. システム基板
5. スピーカ
6. ディスプレイブラケット
7. システムファン
8. ヒートシンク
9. カメラ
10. マイク

システム基板のレイアウト

コンピュータのシステム基板のレイアウトを次の画像に示します。



1. SD メモリカードリーダー
2. メモリモジュール
3. スピーカコネクタ
4. タッチコネクタ
5. コントロールボードコネクタ
6. HDD コネクタ
7. ODD コネクタ
8. SATA 電源コネクタ
9. コンバータボードコネクタ
10. 電源コネクタ 2
11. 電源コネクタ 1
12. システムファンコネクタ
13. プロセッサコネクタ
14. コイン型電池
15. WLAN コネクタ
16. LVDS コネクタ
17. カメラ

コンポーネントの取り外しと取り付け

このセクションには、お使いのコンピューターからコンポーネントを取り外し、取り付ける手順についての詳細な情報が記載されています。

スタンドの取り外し

1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. スタンドカバーを取り外します。
3. スタンドをコンピューターに固定しているネジを外し、スタンドをコンピューターから取り外します。



スタンドの取り付け

1. スタンドの位置をコンピューターに合わせ、ネジを締めてスタンドをコンピューターに固定します。
2. パネルをコンピューターにセットして、カチッと所定の位置に収まるまで押し込みます。
3. スタンドカバーを取り付けます。
4. 「コンピューター内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

背面カバーの取り外し

1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. スタンドカバー
 - b. スタンド
3. 図に示すように、以下の手順を行ってください。
 - a. スクライブを使用して、コンピューターの端を持ち上げます [1]。

- b. 背面カバーをコンピュータから取り外します[2]。

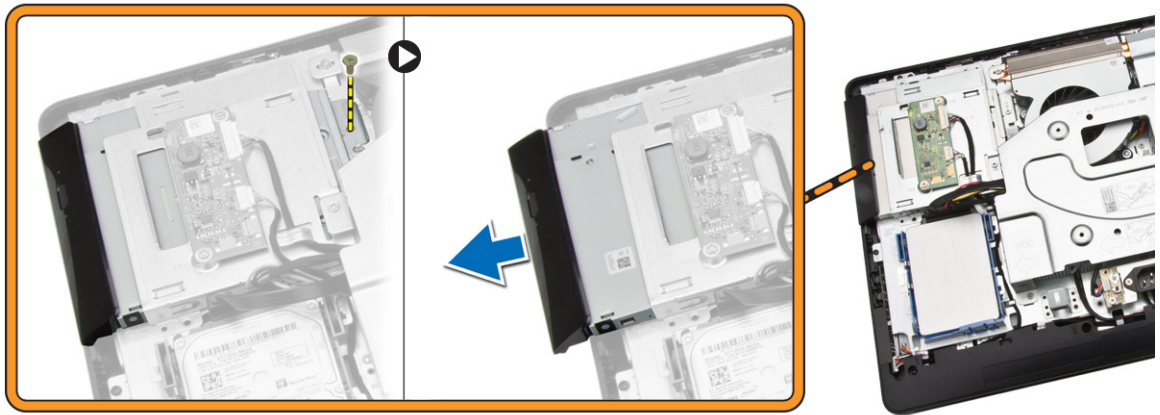


背面カバーの取り付け

1. 背面カバーをコンピュータに設置します。
2. 背面カバーの角を押して背面カバーをコンピュータに固定します。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. スタンド
 - b. スタンドカバー
4. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

オプティカルドライブの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. スタンドカバー
 - b. スタンド
 - c. 背面カバー
3. オプティカルドライブをコンピュータに固定しているネジを外します。オプティカルドライブをスライドさせてコンピュータから取り外します。

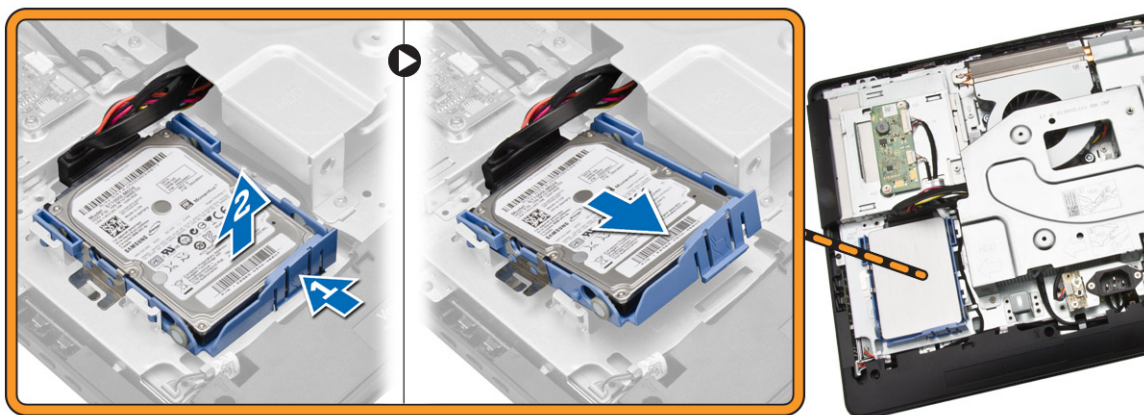


光学ドライブの取り付け

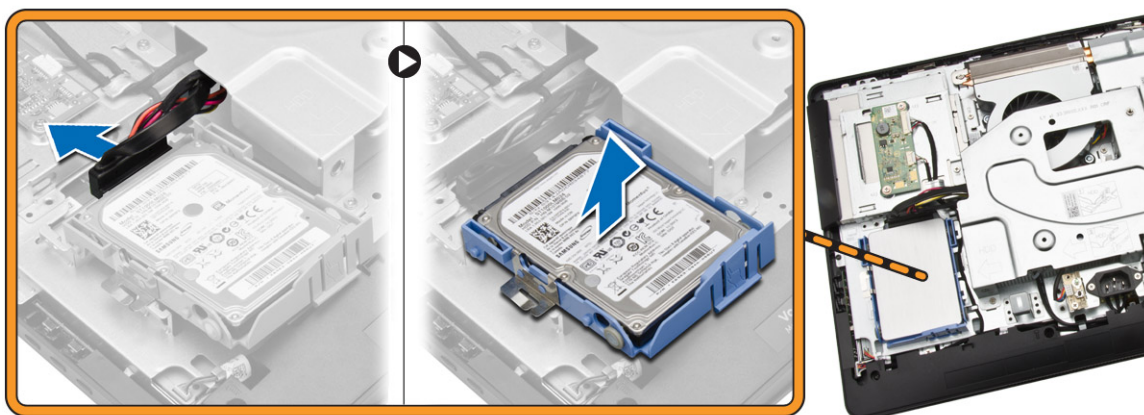
1. 光学ドライブをコンピュータにスライドさせ、ネジを締めて固定します。
2. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. 背面カバー
 - b. スタンド
 - c. スタンドカバー
3. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

ハードドライブの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. スタンドカバー
 - b. スタンド
 - c. 背面カバー
3. 図に示すように、以下の手順を行ってください。
 - a. ハードドライブブラケットを押してロックを外します [1]。
 - b. ハードドライブを一方の端から持ち上げます [2]。



4. ハードドライブをスライドさせて取り外し、ハードドライブケーブルを取り出せるようにします。
5. ハードドライブケーブルをハードドライブから外し、コンピュータから取り外します。



6. ハードドライブブラケットをこじ開けて、ハードドライブを解除します。ハードドライブブラケットからハードドライブを取り外します。

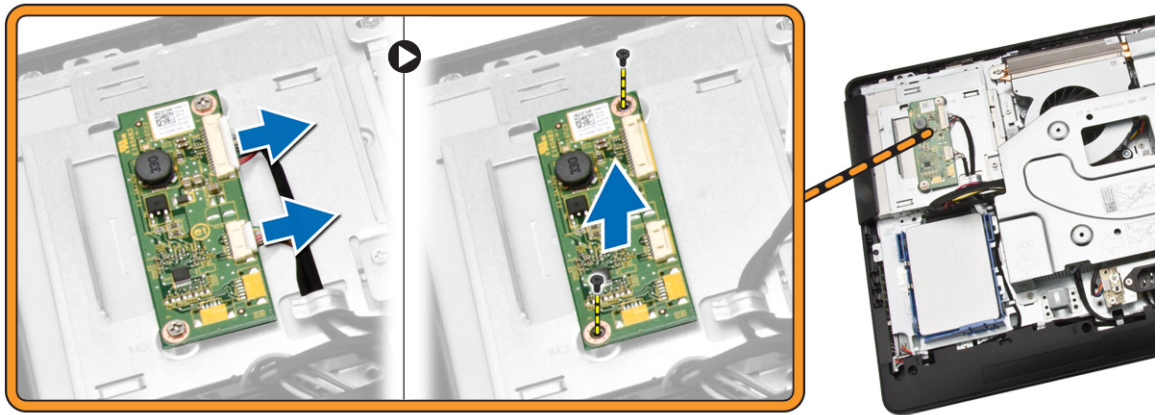


ハードドライブの取り付け

1. ハードドライブをハードドライブブラケットに挿入します。
2. ハードドライブケーブルをハードドライブに接続し、ハードドライブをコンピュータの所定のスロットの位置に合わせます。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. 背面カバー
 - b. スタンド
 - c. スタンドカバー
4. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

コンバータボードの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. スタンドカバー
 - b. スタンド
 - c. 背面カバー
3. ケーブルをコンバータボードから外します。ネジを外し、コンバータボードを持ち上げてコンピュータから取り外します。

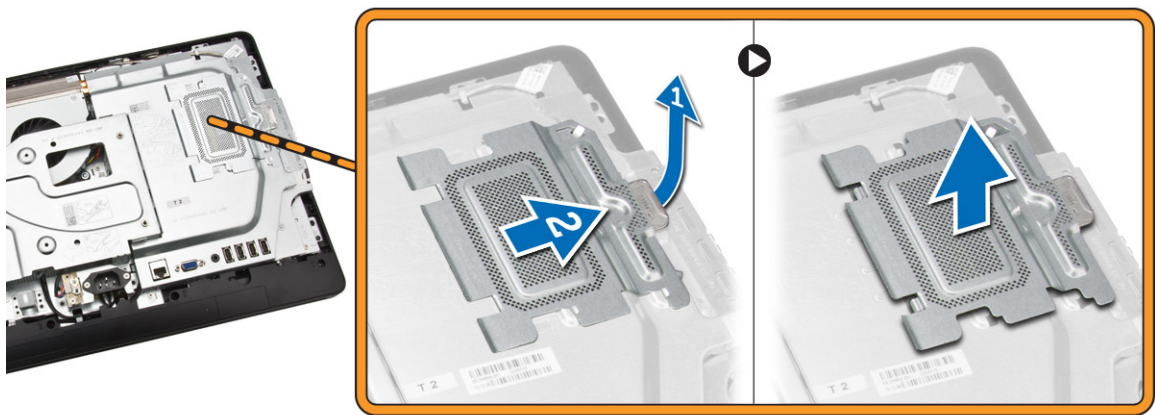


コンバータボードの取り付け

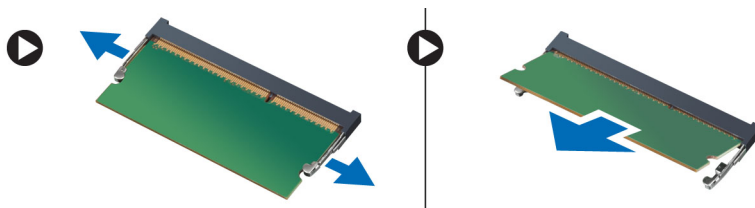
1. ネジを締めてコンバータポートをコンピュータに固定します。コンバータポートにケーブルを接続します。
2. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. 背面カバー
 - b. スタンド
 - c. スタンドカバー
3. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

メモリの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. スタンドカバー
 - b. スタンド
 - c. 背面カバー
3. 図に示すように、以下の手順を行ってください。
 - a. メモリカバーをスライドさせてコンピュータから外します[1]。
 - b. メモリカバーをコンピュータから取り外します[2]。



4. 固定クリップをメモリモジュールから飛び出すまでこの原理で取り外します。メモリモジュールをコネクタから持ち上げて取り外します。



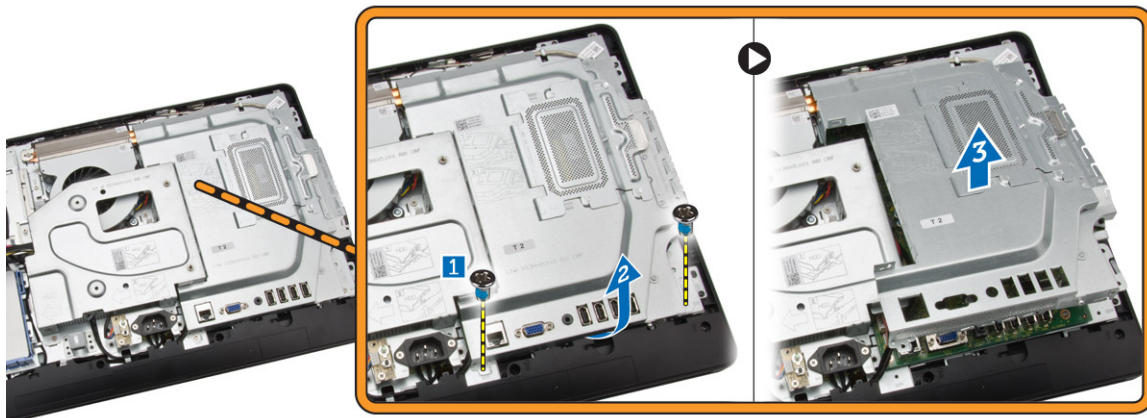
メモリの取り付け

1. メモリカードの切り込みをシステム基板コネクタのタブの位置に合わせます。
2. リリースタブのバネが戻ってメモリモジュールを所定の位置に固定させるまで、メモリモジュールを押し下げます。
3. メモリカバーを所定の位置に戻します。
4. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. 背面カバー
 - b. スタンド
 - c. スタンドカバー
5. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

システム基板シールドの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. スタンドカバー
 - b. スタンド
 - c. 背面カバー
3. 図に示すように、以下の手順を行ってください。
 - a. システム基板シールドをコンピュータに固定しているネジを外します[1]。
 - b. システム基板シールドをコンピュータから持ち上げます[2]。

- c. システム基板シールドをコンピュータから取り外します[3]。

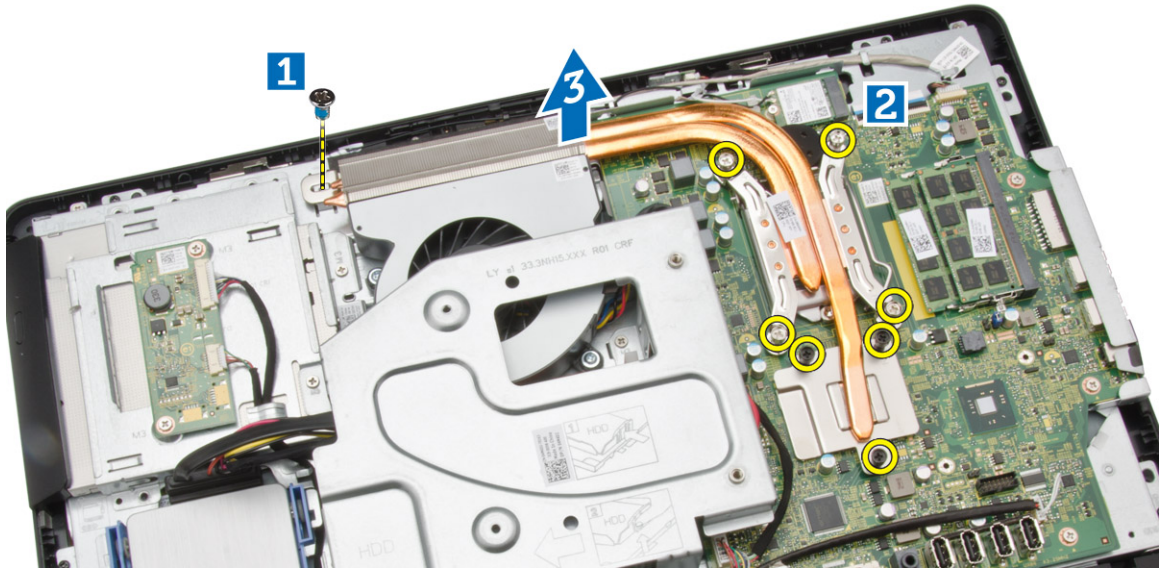


システム基板シールドの取り付け

1. システム基板シールドをシステム基板に合わせ、ネジを締めてコンピュータに固定します。
2. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. 背面カバー
 - b. スタンド
 - c. スタンドカバー
3. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

ヒートシンクの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. スタンドカバー
 - b. スタンド
 - c. 背面カバー
 - d. システム基板シールド
3. 図に示すように、以下の手順を行ってください。
 - a. ヒートシンクをコンピュータに固定しているネジを外します[1]。
 - b. CPU の周囲をコンピュータに固定しているネジを外します [2]。
 - c. ヒートシンクを持ち上げて、コンピュータから取り外します[3]。

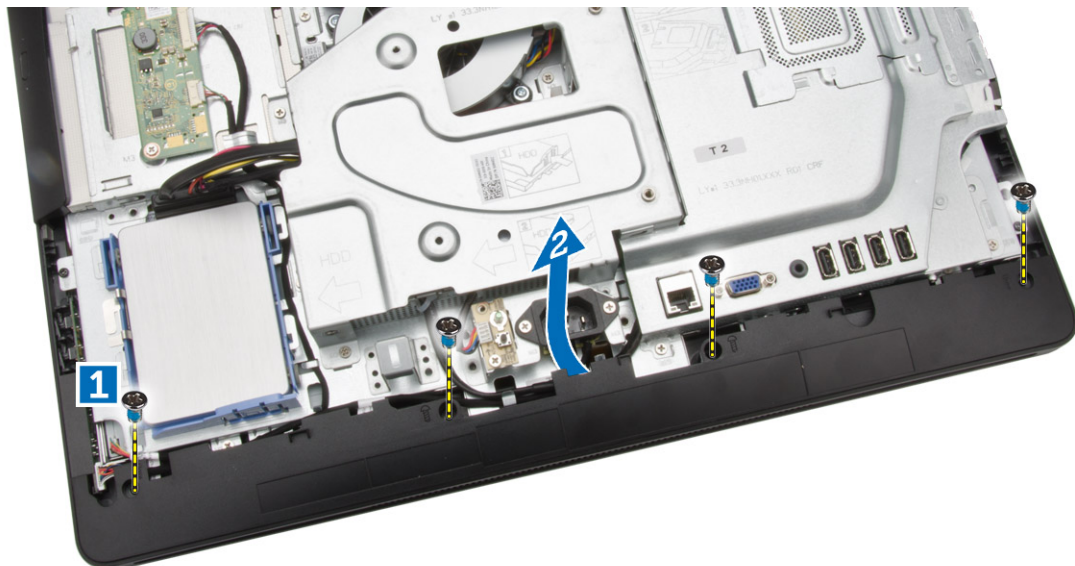


ヒートシンクの取り付け

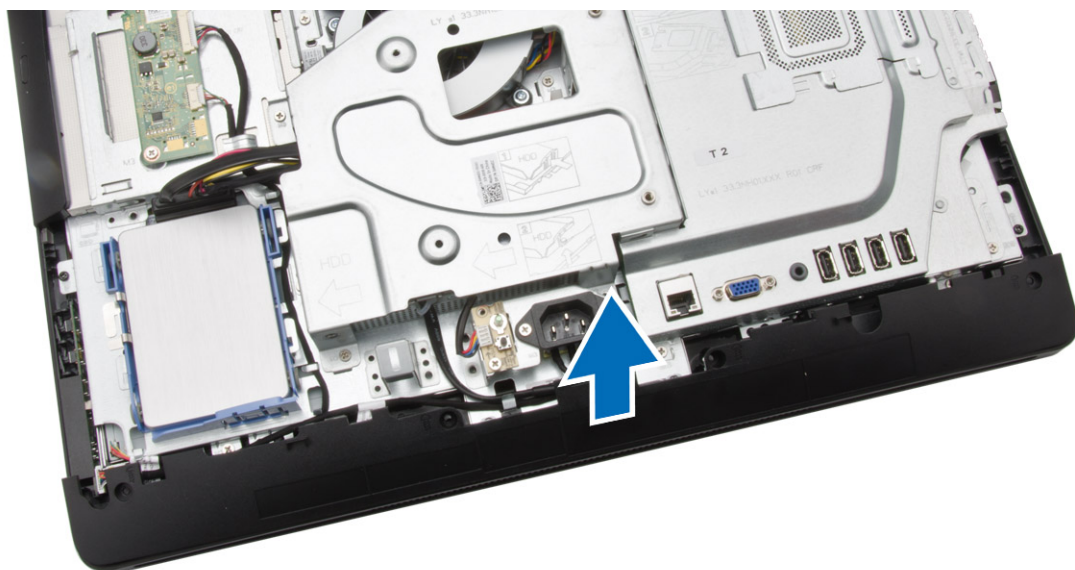
1. ヒートシンクをシステム基板に合わせます。ネジを締めてコンピュータに固定します。
2. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. システム基板シールド
 - b. 背面カバー
 - c. スタンド
 - d. スタンドカバー
3. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

スピーカの取り外し

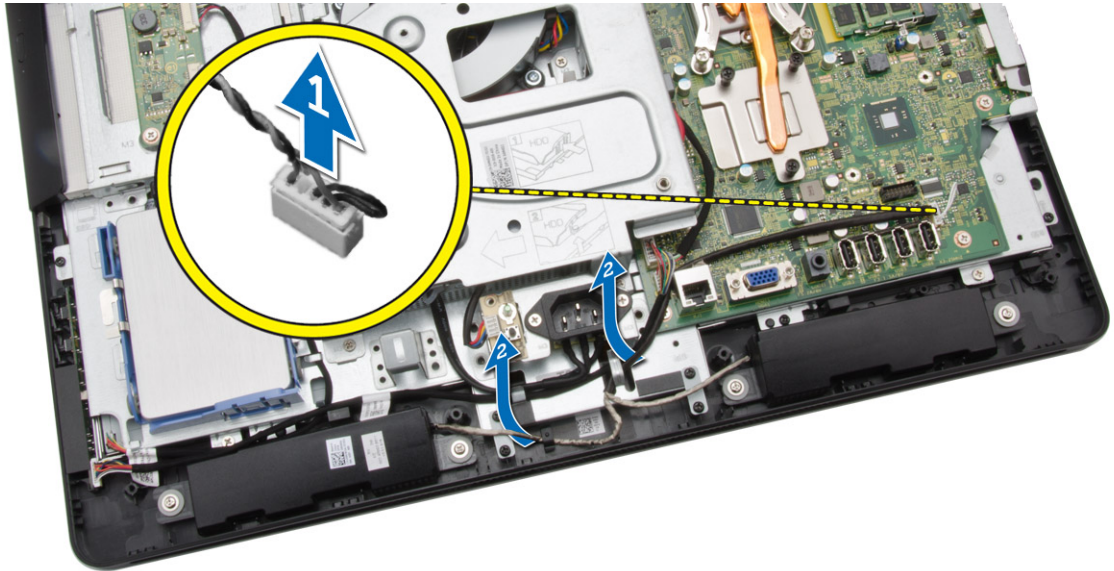
1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. スタンドカバー
 - b. スタンド
 - c. 背面カバー
 - d. システム基板シールド
3. 図に示すように、以下の手順を行ってください。
 - a. スピーカカバーをコンピュータに固定しているネジを外します[1]。
 - b. スピーカカバーをコンピュータから外します [2]。



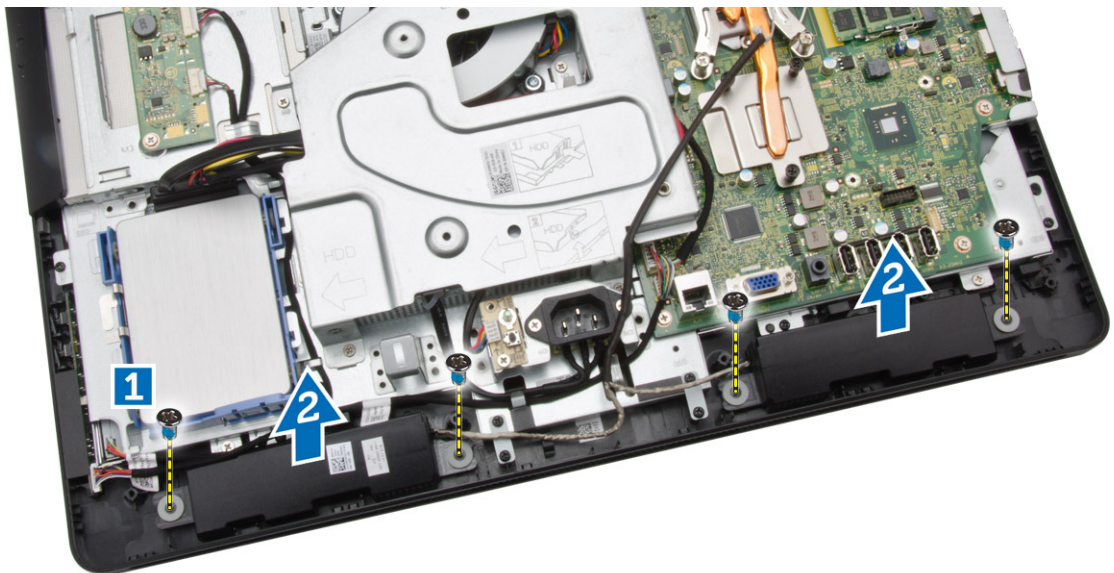
4. スピーカカバーをコンピュータから取り外します。



5. 図に示すように、以下の手順を行ってください。
- a. スピーカケーブルをシステム基板から外します [1]。
 - b. コンピュータのタブからケーブルを外します [2]。



6. 図に示すように、以下の手順を行ってください。
- a. スピーカをコンピュータに固定しているネジを外します[1]。
 - b. スピーカをコンピュータから取り外します[2]。



スピーカの取り付け

1. スピーカをコンピュータに合わせます。ネジを締めてコンピュータに固定します。
2. スピーカケーブルをコンピュータのタブに沿って配線し、システム基板に接続します。
3. スピーカカバーをコンピュータに合わせ、ネジを締めて固定します。
4. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. システム基板シールド
 - b. 背面カバー

- c. スタンド
 - d. スタンドカバー
5. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

VESA ブラケットの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. スタンドカバー
 - b. スタンド
 - c. 背面カバー
3. 図に示すように、以下の手順を行ってください。
 - a. VESA ブラケットをコンピュータに固定しているネジを外します[1]。
 - b. VESA ブラケットをコンピュータから取り外します [2]。



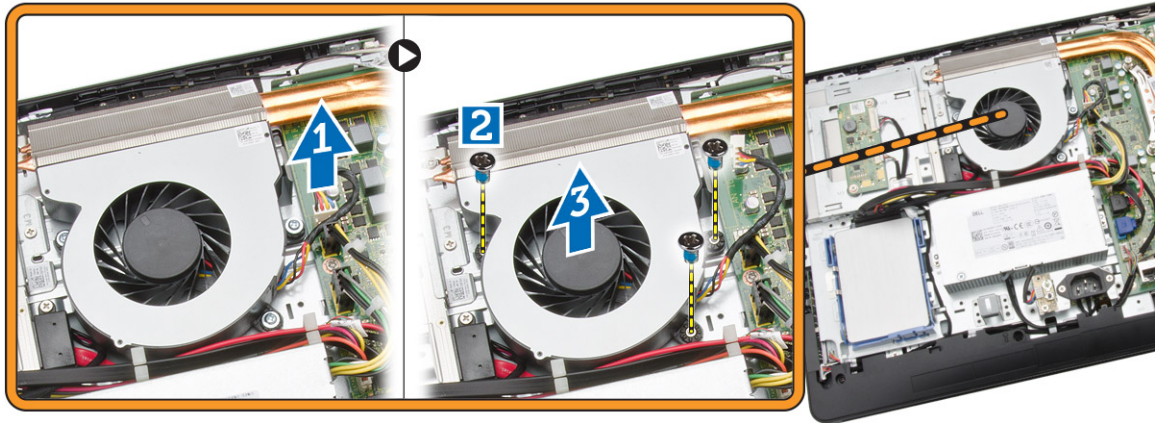
VESA ブラケットの取り付け

1. VESA ブラケットをコンピュータに合わせます。ネジを締めて、コンピュータに固定します。
2. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. 背面カバー
 - b. スタンド
 - c. スタンドカバー
3. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

システムファンの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。

- a. スタンドカバー
 - b. スタンド
 - c. 背面カバー
 - d. システム基板シールド
 - e. VESA ブラケット
3. 図に示すように、以下の手順を行ってください。
- a. システムファンケーブルをシステム基板から外します[1]。
 - b. システムファンを固定しているネジを外します[2]。
 - c. システムファンをコンピュータから取り外します[3]。

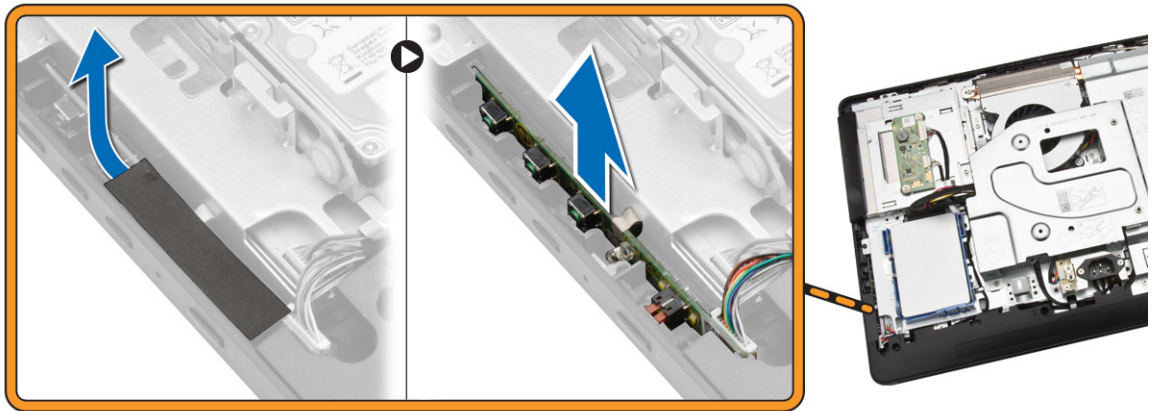


システムファンの取り付け

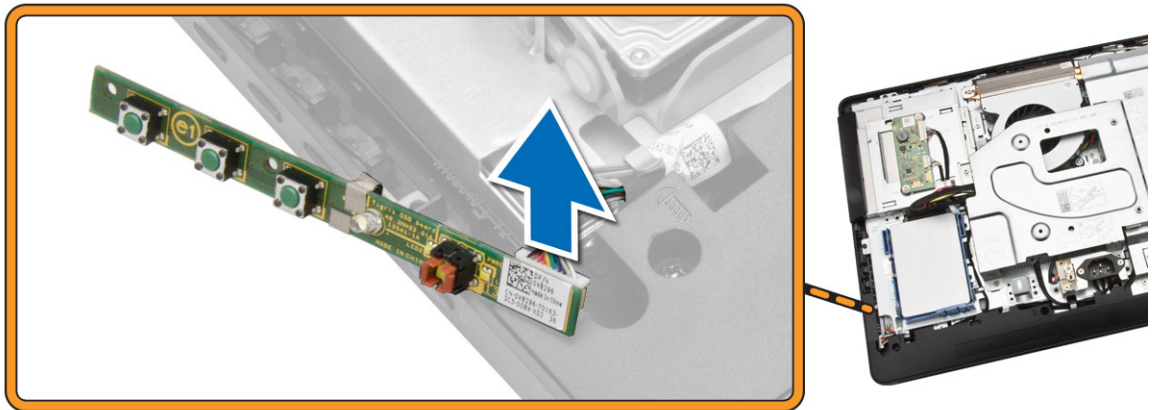
1. システムファンをコンピュータのヒートシンクに合わせ、ネジを締めてコンピュータに固定します。
2. システムファンケーブルをシステム基板に接続します。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. VESA ブラケット
 - b. システム基板シールド
 - c. 背面カバー
 - d. スタンド
 - e. スタンドカバー
4. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

電源スイッチボードの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. スタンドカバー
 - b. スタンド
 - c. 背面カバー
3. 電源スイッチボードをコンピュータに固定しているテープを剥がし、電源スイッチボードを持ち上げてケーブルを取り出せるようにします。



4. 電源スイッチケーブルを電源スイッチボードから外し、コンピュータから取り出します。



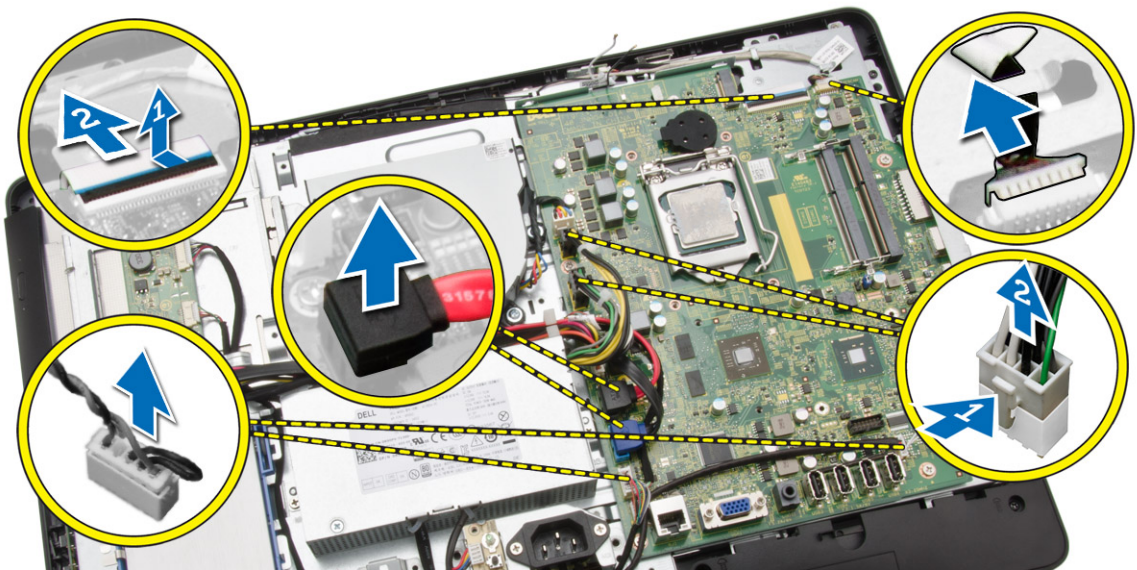
電源スイッチボードの取り付け

1. 電源スイッチボードをコンピュータの所定のスロットに差し込み、テープで固定します。電源スイッチケーブルを電源スイッチボードに接続します。
2. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. 背面カバー
 - b. スタンド
 - c. スタンドカバー
3. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

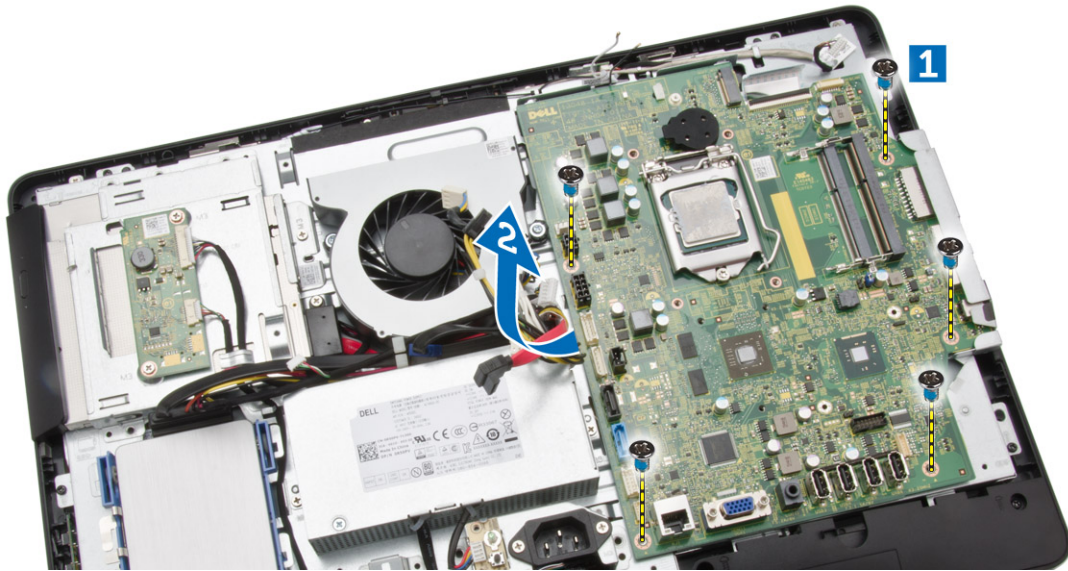
システム基板の取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. スタンドカバー

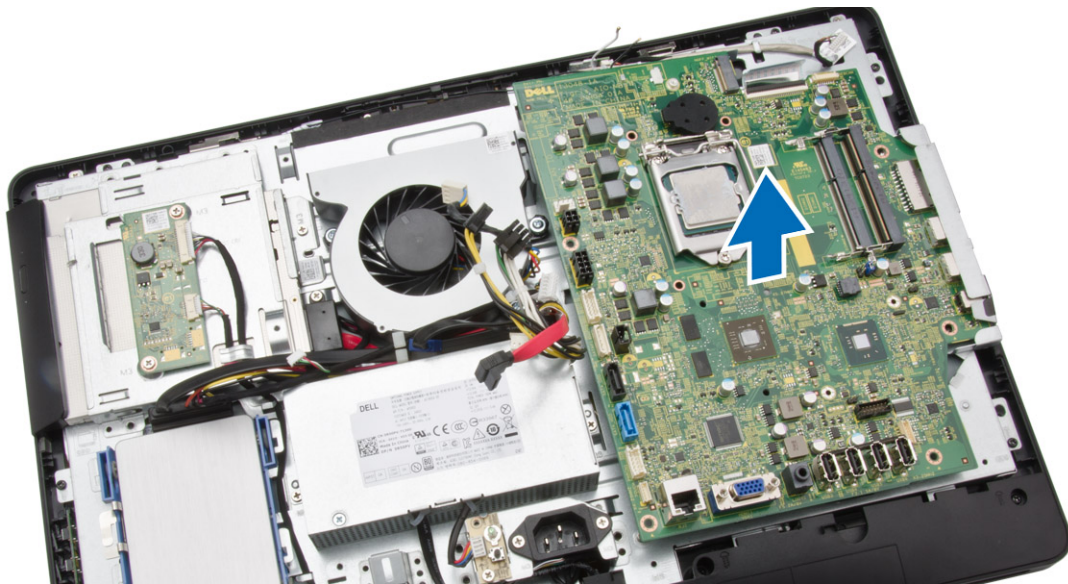
- b. スタンド
 - c. 背面カバー
 - d. メモリ
 - e. VESA ブラケット
 - f. システム基板シールド
 - g. ヒートシンク
 - h. WLAN カード
3. システム基板から以下のケーブルを外します。
- a. カメラケーブル
 - b. LVDS ケーブル
 - c. システムファンケーブル
 - d. オプティカルドライブケーブル
 - e. ハードドライブケーブル
 - f. ハードドライブ / オプティカルドライブ電源ケーブル
 - g. コンバータボードケーブル
 - h. 電源スイッチケーブル
 - i. タッチケーブル (使用可能な場合)
 - j. スピーカケーブル



4. 図に示すように、以下の手順を行ってください。
- a. システム基板をコンピュータに固定しているネジを外します [1]。
 - b. システム基板をスライドさせて、コンピュータから外します [2]。



5. システム基板をコンピュータから取り外します。



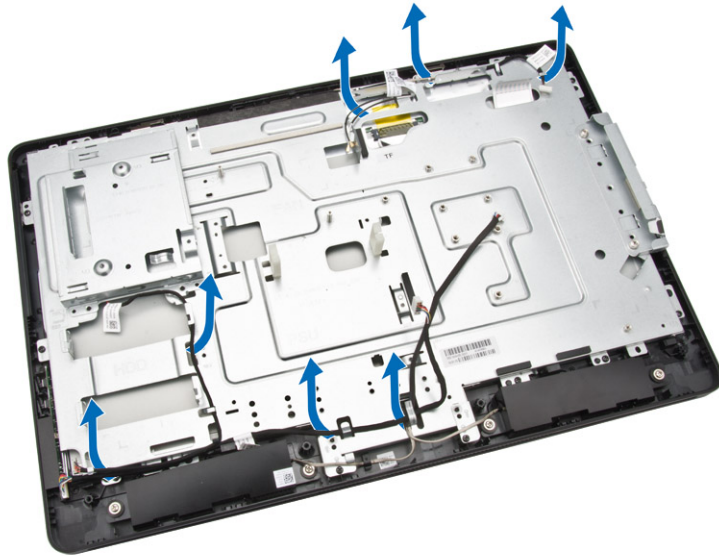
システム基板の取り付け

1. コンピュータ上でシステム基板の位置を合わせます。
2. ネジを締めてシステム基板をコンピュータに固定します。
3. 以下のケーブルをシステム基板に接続します。
 - a. カメラケーブル
 - b. LVDS ケーブル
 - c. システムファンケーブル
 - d. オプティカルドライブケーブル
 - e. ハードドライブケーブル

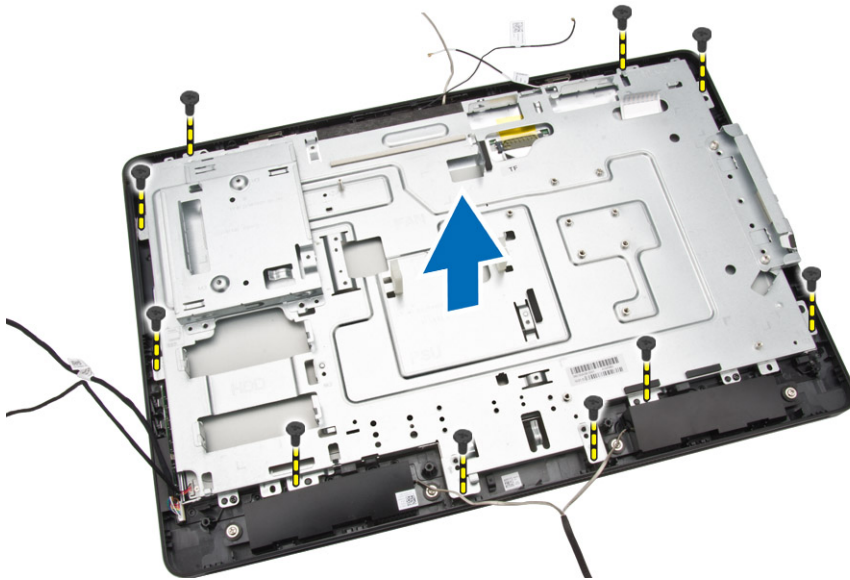
- f. ハードドライブ / オプティカルドライブ電源ケーブル
 - g. コンバータボードケーブル
 - h. タッチケーブル (使用可能な場合)
 - i. 電源スイッチケーブル
 - j. スピーカケーブル
4. 次のコンポーネントを取り付けます。
- a. WLAN カード
 - b. ヒートシンク
 - c. システム基板シールド
 - d. VESA ブラケット
 - e. メモリ
 - f. 背面カバー
 - g. スタンド
 - h. スタンドカバー
5. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

ディスプレイブラケットの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
- a. スタンドカバー
 - b. スタンド
 - c. 背面カバー
 - d. オプティカルドライブ
 - e. ハードドライブ
 - f. メモリ
 - g. VESA ブラケット
 - h. システム基板シールド
 - i. スピーカ
 - j. ヒートシンク
 - k. システムファン
 - l. WLAN カード
 - m. コンバータボード
 - n. システム基板
3. LVDS ケーブル、カメラケーブル、コンバータボードケーブルをディスプレイブラケットのタブから外します。



4. ディスプレイブラケットをコンピュータに固定しているネジを外します。ディスプレイブラケットを持ち上げてコンピュータから取り外します。



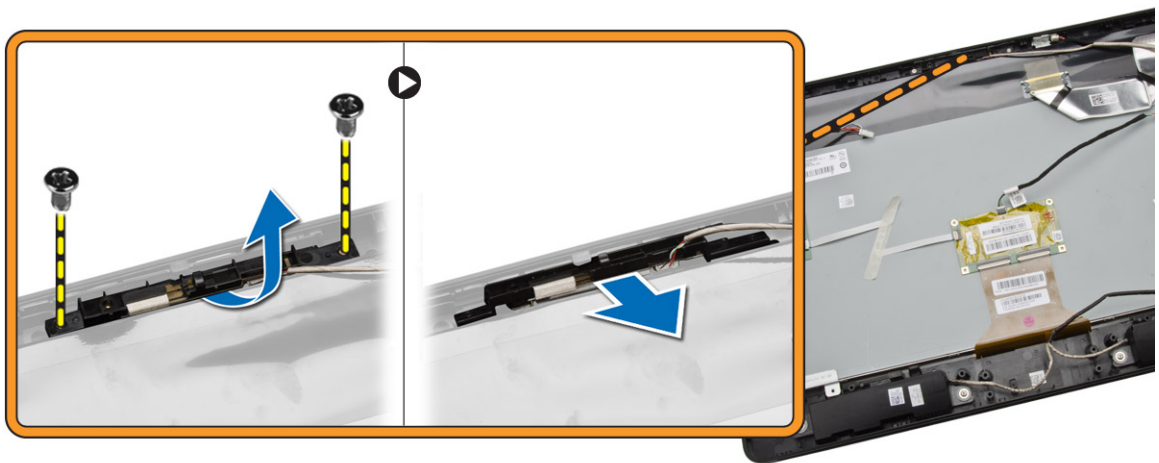
ディスプレイブラケットの取り付け

1. ディスプレイブラケットをコンピュータに合わせます。
2. ネジを締めて、ディスプレイブラケットをコンピュータに固定します。
3. LVDS ケーブル、カメラケーブル、コンバータボードケーブルをディスプレイブラケットのタブに沿って配線します。
4. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. システム基板
 - b. コンバータボード

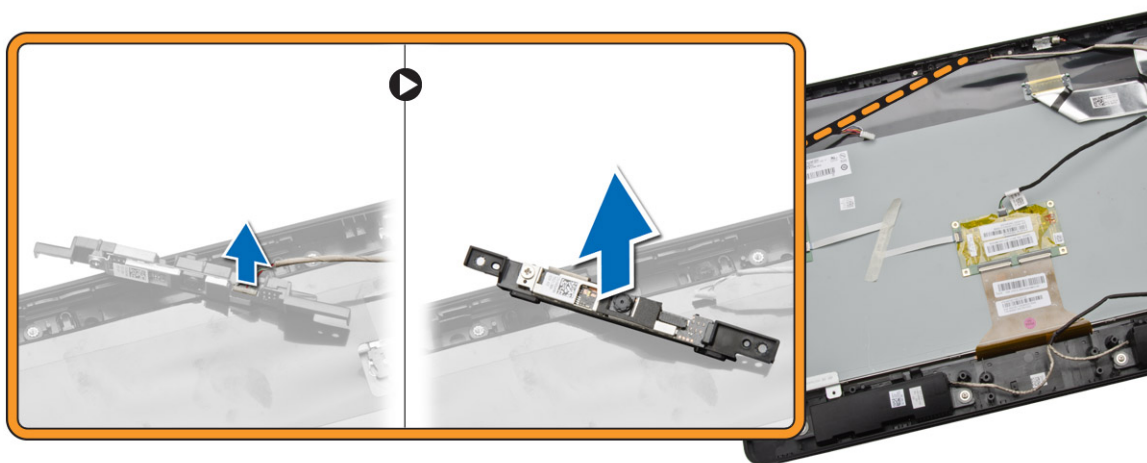
- c. WLAN カード
 - d. システムファン
 - e. ヒートシンク
 - f. スピーカ
 - g. システム基板シールド
 - h. VESA ブラケット
 - i. メモリ
 - j. ハードドライブ
 - k. オプティカルドライブ
 - l. 背面カバー
 - m. スタンド
 - n. スタンドカバー
5. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

カメラの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. スタンドカバー
 - b. スタンド
 - c. 背面カバー
 - d. オプティカルドライブ
 - e. ハードドライブ
 - f. メモリ
 - g. VESA ブラケット
 - h. システム基板シールド
 - i. スピーカ
 - j. ヒートシンク
 - k. システムファン
 - l. WLAN カード
 - m. コンバータボード
 - n. システム基板
 - o. ディスプレイブラケット
3. カメラをコンピュータに固定しているネジを外し、スロットから解除してカメラケーブルを確認します。



4. カメラケーブルをカメラから外し、カメラをコンピュータから取り外します。



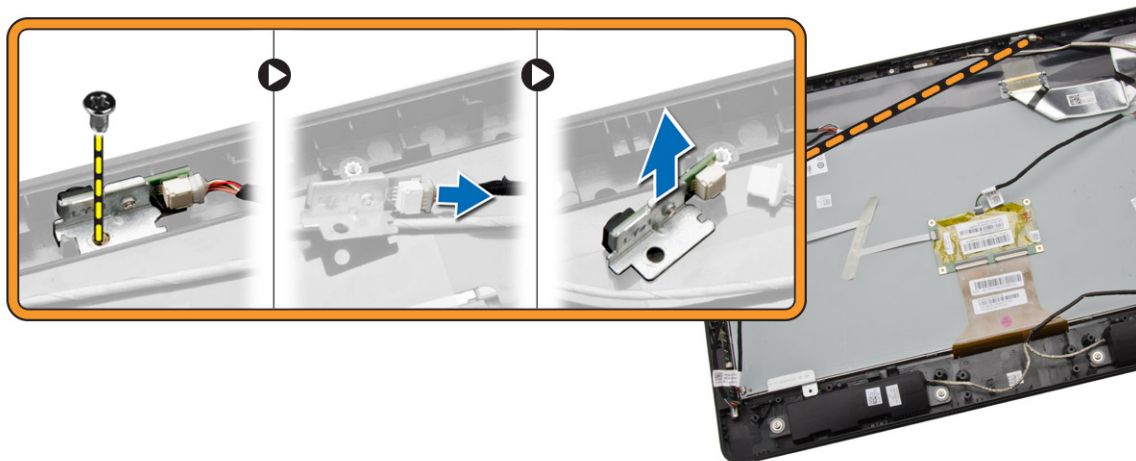
カメラの取り付け

1. カメラにカメラケーブルを接続します。
2. カメラを所定のスロットに合わせ、ネジを締めてコンピュータに固定します。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. ディスプレイブラケット
 - b. システム基板
 - c. コンバータボード
 - d. WLAN カード
 - e. システムファン
 - f. ヒートシンク
 - g. スピーカ
 - h. システム基板シールド
 - i. VESA ブラケット
 - j. メモリ
 - k. ハードドライブ
 - l. オプティカルドライブ
 - m. 背面カバー
 - n. スタンド
 - o. スタンドカバー
4. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

マイクの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. スタンドカバー
 - b. スタンド
 - c. 背面カバー
3. 図に示すように、以下の手順を行ってください。

- a. マイクを固定しているネジを外します。
- b. マイクからマイクケーブルを外します。
- c. マイクをコンピュータから取り外します。



マイクの取り付け

1. マイクケーブルをマイクに接続します。
2. マイクを所定のスロットに合わせ、ネジを締めてコンピュータに固定します。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. 背面カバー
 - b. スタンド
 - c. スタンドカバー
4. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

システムセットアップ

システムセットアップでコンピューターのハードウェアを管理し BIOS レベルのオプションを指定することができます。システムセットアップで以下の操作が可能です:

- ハードウェアの追加または削除後に NVRAM 設定を変更する。
- システムハードウェアの構成を表示する。
- 統合されたデバイスの有効 / 無効を切り替える。
- パフォーマンスと電力管理のしきい値を設定する。
- コンピューターのセキュリティを管理する。

起動順序

起動順序ではシステムセットアップで定義された起動デバイスの順序および起動ディレクトリを特定のデバイス (例: オプティカルドライブまたはハードドライブ) にバイパスすることができます。パワーオンセルフテスト(POST)中に、Dell のロゴが表示されたら、以下の操作が可能です:

- <F2> を押してシステムセットアップにアクセスする
- <F12> を押して 1 回限りの起動メニューを立ち上げる

1 回限りの起動メニューでは診断オプションを含むオプションから起動可能なデバイスを表示します。起動メニューのオプションは以下の通りです:

- リムーバブルドライブ(利用可能な場合)
- STXXXX ドライブ
 - **メモ:** XXX は、SATA ドライブの番号を意味します。
- オプティカルドライブ
- 診断
 - **メモ:** 診断を選択すると **ePSA 診断** 画面が表示されます。


起動順序画面ではシステムセットアップ画面にアクセスするオプションを表示することも可能です。

ナビゲーションキー

以下の表ではセットアップユーティリティのナビゲーションキーを示しています。

- **メモ:** ほとんどのセットアップユーティリティオプションで、変更内容は記録されますが、システムを再起動するまでは有効になりません。

表 1. ナビゲーションキー

キー	ナビゲーション
上矢印	前のフィールドに移動します。
下矢印	次のフィールドへ移動します。
<Enter>	選択したフィールドに値を入力するか（該当する場合）、フィールド内のリンクに移動することができます。
スペースバー	ドロップダウンリストがある場合は、展開したり折りたたんだりします。
<Tab>	次のフォーカス対象領域に移動します。  メモ: 標準グラフィックブラウザ用に限られます。
<Esc>	メイン画面が表示されるまで、前のページに戻ります。メイン画面で <Esc> を押すと、未保存の変更を保存するプロンプトが表示され、システムが再起動します。
<F1>	セットアップユーティリティのヘルプファイルを表示します。

セットアップユーティリティのオプション


 **メモ:** お使いのコンピュータおよび取り付けられているデバイスによっては、このセクションに記載されている項目の一部が表示されない場合があります。

表 2. 一般

オプション	説明
System Board	このセクションには、コンピュータの主要なハードウェア機能が一覧表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> システム情報 メモリ情報 PCI Information (PCI 情報) プロセッサ情報 Device Information (デバイス情報)
Boot Sequence	コンピュータが OS の検出を試みる順序を変更することができます。 <ul style="list-style-type: none"> Boot Sequence <ul style="list-style-type: none"> Diskette Drive (ディスクетトドライブ) SATA HDD Drive (SATA HDD ドライブ) USB Storage Device (USB ストレージデバイス) CD/DVD/CD-RW Drive (CD/DVD/CD-RW ドライブ) Onboard NIC (オンボード NIC) Boot List Option <ul style="list-style-type: none"> 起動リストオプションを変更することができます。 <ul style="list-style-type: none"> Legacy (レガシー) UEFI

オプション	説明
Advanced Boot Options	レガシーオプション ROM を有効にできます。 <ul style="list-style-type: none"> • Enabled Legacy Options ROMs (レガシーオプション ROM を有効にする) (デフォルト: 有効)
Date/Time	日付と時間を設定することができます。システムの日時変更はすぐに反映されます。

表 3. System Configuration (システム設定)

オプション	説明
Integrated NIC	内蔵ネットワークコントローラを設定することができます。オプションは次の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> • Enable UEFI Network Stack (ネットワークスタックを有効にする) • 無効 • 有効 • Enabled w/PXE (PXE で有効) (デフォルト) • Enabled w/Cloud Desktop (クラウドデスクトップで有効)
SATA Operation	内蔵 SATA ハードドライブコントローラを設定することができます。オプションは次の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> • 無効 • ATA • AHCI (デフォルト)
Drives	各種オンボードドライブを有効または無効に設定することができます。 <ul style="list-style-type: none"> • SATA-0 • SATA-1 <p>デフォルト設定: ドライブはすべて有効です。</p>
SMART Reporting	システム起動中にハードドライブで SMART レポートを有効にすることができます。 <ul style="list-style-type: none"> • Enable SMART Reporting (SMART レポートを有効にする) - このオプションはデフォルトで無効に設定されています。
USB Configuration	内部 USB 設定を有効または無効にすることができます。オプションは次の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> • Enable Boot Support (起動サポートを有効にする) • Rear USB Ports (背面 USB ポート) <ul style="list-style-type: none"> - ポート 1 (左) - ポート 2 (中央左) - ポート 3 (中央右) - ポート 4 (右) • Side USB Ports (側面 USB ポート)

オプション	説明
	<ul style="list-style-type: none"> - ポート 1 (上) - ポート 2 (下) <p>デフォルト設定：デバイスはすべて有効です。</p>
Audio	<p>オーディオ機能を有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • オーディオを有効にする <ul style="list-style-type: none"> - Enable Microphone (マイクを有効にする) - Enable Internal Speaker (内蔵スピーカを有効にする) <p>デフォルト設定：デバイスはすべて有効です。</p>
OSD Button Management	<p>OSD (オンスクリーンディスプレイ) ボタンを無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Disable OSD Buttons (OSD ボタンを無効にする) <p>デフォルト設定：OSD ボタンが無効になっていません</p>
Miscellaneous Devices	<p>各種オンボードデバイスを有効または無効に設定することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Enable Camera (カメラを有効にする) - このオプションはデフォルトで選択されています。 • Enable Media Card (メディアカードを有効にする) - このオプションはデフォルトで選択されています。 • Disable Media Card (メディアカードを無効にする)

表 4. セキュリティ

オプション	説明
Admin Password	<p>このフィールドでは、管理者 (admin) パスワード (セットアップパスワードと呼ばれる場合もある) を設定、変更、または削除します。管理者パスワードではいくつかのセキュリティ機能を有効にすることができます。</p> <p>ドライブにはデフォルトで設定されたパスワードはありません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Enter the old password (古いパスワードを入力する) • Enter the new password (新しいパスワードを入力する) • Confirm the new password (新しいパスワードを確認する)
System Password	<p>このフィールドでは、システムパスワードを設定、変更、または削除します。システムパスワードではいくつかのセキュリティ機能を有効にすることができます。</p>

オプション	説明
Internal HDD_0 Password	<p>ドライブにはデフォルトで設定されたパスワードはありません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Enter the old password (古いパスワードを入力する) • Enter the new password (新しいパスワードを入力する) • Confirm the new password (新しいパスワードを確認する)
Strong Password	<p>Enable strong password (強力なパスワードを有効にする) - このオプションはデフォルトで無効に設定されています。</p>
Password Configuration	<p>このフィールドでは、管理者パスワードおよびシステムパスワードで使用できる最小および最大文字数を制御します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Admin Password Min (管理者パスワードの最小文字数) • Admin Password Max (管理者パスワードの最大文字数) • System Password Min (システムパスワードの最小文字数) • System Password Max (システムパスワードの最大文字数) <p>デフォルトでは、最小文字数が 4 文字、最大文字数が 32 文字に設定されています。</p>
Password Bypass	<p>システムの再起動時に <i>System Password</i> (システムパスワード) と内蔵 HDD パスワードの入力指示をスキップすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 詳細 - このオプションはデフォルトで選択されています。 • Reboot bypass (再起動のスキップ)
Password Change	<p>管理者パスワードが設定されている場合、システムパスワードおよびハードディスクパスワードの変更を許可するかどうかを決定することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Allow Non-Admin Password Changes (管理者以外のパスワードによる変更を許可) - このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
TPM Security	<p>このオプションでは、システムの TPM (Trusted Platform Module) を有効にし、オペレーティングシステムで認識されるようにするかどうかを制御できます。</p> <p>TPM Security (TPM セキュリティ) - このオプションはデフォルトで無効に設定されています。</p>

オプション	説明
Computrace	<p>このフィールドでは、オプションの <i>Absolute Software</i> 社製 <i>Computrace Service</i> の BIOS モジュールインタフェースをアクティブ、非アクティブ、または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Deactivate (非アクティブにする) - このオプションはデフォルトで無効に設定されています。 • 無効 • Activate (アクティブ化)
CPU XD Support	<p>プロセッサの Execute Disable (実行無効) モードを有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Enable CPU XD Support (CPU XD サポートを有効にする) - このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
Admin Setup Lockout	<p>管理者パスワードが設定されている場合、セットアップユーティリティを起動するオプションを有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Enable Admin Setup Lockout (管理者セットアップロックアウトを有効にする) - このオプションはデフォルトでは設定されていません。

表 5. Secure Boot (安全起動)

オプション	説明
Secure Boot Enable	<p>安全起動機能を有効または無効にすることができます。オプションは次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 無効 (デフォルト) • 有効
Expert Key Management	<p>システムが Custom Mode (カスタムモード) の場合のみ、セキュリティキーデータベースを操作できます。Enable Custom Mode (カスタムモードを有効にする) オプションはデフォルトで無効に設定されています。オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • PK • KEK • db • dbx <p>Custom Mode (カスタムモード) を有効にすると、PK、KEK、db、および dbx の関連オプションが表示されます。このオプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Save to File (ファイルに保存) - ユーザーが選択したファイルにキーを保存します。 • Replace from File (ファイルから交換) - 現在のキーをユーザーが選択したファイルのキーと交換します。 • Append from File (ファイルから追加) - ユーザーが選択したファイルから現在のデータベースにキーを追加します。 • Delete (削除) - 選択したキーを削除します。

オプション	説明
	<ul style="list-style-type: none"> • Reset All Keys (すべてのキーをリセット) - デフォルト設定にリセットします。 • Delete All Keys (すべてのキーを削除) - すべてのキーを削除します。 <p> メモ: Custom Mode (カスタムモード) を無効にすると、すべての変更が消去され、キーはデフォルト設定に復元されます。</p>

表 6. パフォーマンス


オプション	説明
Multi Core Support	<p>プロセスが1つまたはすべてのコアを有効にするかどうか指定します。コアを追加することでアプリケーションのパフォーマンスが向上する場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • すべて - デフォルトで有効に設定 • 1 • 2
Intel SpeedStep	<p>Intel SpeedStep 機能を有効または無効にすることができます。</p> <p>デフォルト設定 : Enable Intel SpeedStep (Intel SpeedStep を有効にする)</p>
C States Control	<p>追加プロセッサのスリープ状態を有効または無効にすることができます。</p> <p>デフォルト設定 : Enabled (有効)</p>
Limit CPUID Value	<p>このフィールドはプロセッサ標準 CPUID 機能によってサポートされる最大値を制限します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Enable CPUID Limit (CPUID 値の制限を有効にする) (デフォルトで無効) <p> メモ: 最大 CPUID 機能が3を超えると、一部のオペレーティングシステムのインストールが完了しません。</p>
Intel TurboBoost	<p>プロセッサの Intel TurboBoost モードを有効または無効に設定することができます。このオプションはデフォルトで有効に設定されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Enable Intel TurboBoost (Intel TurboBoost を有効にする) - Intel TurboBoost ドライバにより CPU またはグラフィックスプロセッサのパフォーマンスを向上させることができます。デフォルトで有効。

表 7. 電源管理

オプション	説明
AC Recovery	<p>AC 電源の停電後 AC 電源が戻った場合のコンピュータの反応の仕方を指定します。AC リカバリを以下のように設定できます：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 電源オフ (デフォルト) • 電源オン • Last Power State (直前の電源状態)
Auto On Time	<p>コンピュータが自動的に起動する時刻を設定することができます。オプションは次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 無効 (デフォルト) • Every Day (毎日) • Weekdays (平日) • Select Days (選択した日)
Deep Sleep Control	<p>ディープスリープを有効にするタイミングの制御を定義することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 無効 • Enabled in S5 only (S5 のみで有効) • Enabled in S4 and S5 (S4 および S5 で有効)
Fan Control Override	<p>システムファンのスピードをコントロールします。このオプションはデフォルトで無効に設定されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Fan Control Override (ファンコントロールオーバーライド) このオプションはデフォルトで無効に設定されています。
USB Wake Support	<p>このオプションでは、USB デバイスでコンピュータを待機状態からウェイクさせることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Enable USB Wake Support (USB ウェイクサポートの有効化) - このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
Wake on LAN/WLAN	<p>特別な LAN/WLAN 信号でトリガされた場合、オフ状態からコンピュータの電源を入れることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 無効 • LAN Only (LAN のみ) • WLAN Only (WLAN のみ) • LAN with PXE Boot (PXE ブート付き LAN) <p>このオプションはデフォルトで無効に設定されています。</p>
Block Sleep	<p>OS の環境でスリープ (S3 状態) に入るのをブロックすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Block Sleep (S3 state) (ブロックスリープ (S3 状態)) このオプションはデフォルトで無効に設定されています。
Intel Smart Connect Technology	<p>このオプションはデフォルトで無効に設定されています。オプションが有効の場合、システムがスリープ状態で近くのワイヤレス接続を定期的に感知します。これは、システムがスリー</p>

オプション	説明
	<p>プ状態になった時に開かれた E メールやソーシャルメディアアプリケーションを同期化します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Smart Connection (スマート接続)

表 8. POST Behavior (POST 動作)

オプション	説明
Numlock LED	<p>コンピュータの起動時に、NumLock を有効にすることができます。このオプションはデフォルトで有効に設定されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Enable Numlock LED (NumLock LED を有効にする)
Keyboard Errors	<p>コンピュータの起動時に、エラーレポートに関連するキーボードを有効にすることができます。このオプションはデフォルトで有効に設定されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Enable Keyboard Error Detection (キーボードエラー検出を有効にする)
Fastboot	<p>一部の互換性手順をスキップすることにより、起動プロセスを高速化することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Minimal (最小) • Thorough (詳細) - このオプションはデフォルトで選択されています。 • 自動

表 9. Virtualization Support (仮想化サポート)

オプション	説明
Virtualization	<p>このオプションでは、インテル・バーチャライゼーション・テクノロジーが提供する付加的なハードウェア機能を VMM (Virtual Machine Monitor) で使用できるようにするかどうかを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Enable Intel Virtualization Technology (Intel 仮想化テクノロジーの有効化) - このオプションはデフォルトで有効に設定されています。

表 10. Wireless (ワイヤレス)





オプション	説明
Wireless Device Enable	<p>内蔵ワイヤレスデバイスを有効 / 無効にすることができます。オプションは、WLAN/WIGIG です。(デフォルトで有効)</p>

表 11. メンテナンス

オプション	説明
Service Tag	<p>コンピュータのサービスタグを表示します。</p>
Asset Tag	<p>アセットタグがまだ設定されていない場合、システムアセットタグを作成することができます。このオプションはデフォルトでは設定されていません。</p>

オプション	説明
SERR Messages	<p>SERR メッセージのメカニズムをコントロールします。このオプションはデフォルトで有効に設定されています。SERR メッセージのメカニズムが無効になっている必要のあるグラフィックスカードもあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Enable SERR Messages (SERR メッセージを有効にする)

表 12. クラウドデスクトップ

オプション	説明
Server Lookup Method	<p>ImageServer によるサーバーアドレスの検出方法を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Static IP (静的 IP) • DNS (デフォルトで有効) <p> メモ: このフィールドは、<i>System Configuration</i> (システムの設定) グループの <i>Integrated NIC</i> (統合 NIC) コントロールが <i>Enabled with ImageServer</i> (ImageServer で有効) に設定されている場合のみ、利用可能になります。</p>
Server Name	<p>サーバーの名前を表示します。</p>
Server IP Address	<p>クライアントソフトウェアが通信する ImageServer の主要な静的 IP アドレスを表示します。デフォルトの IP アドレスは 255.255.255.255 です。</p> <p> メモ: このフィールドは、<i>System Configuration</i> (システムの設定) グループの <i>Integrated NIC</i> (統合 NIC) コントロールが <i>Enabled with ImageServer</i> (ImageServer で有効) に設定されており、<i>Lookup Method</i> (検出方法) が <i>Static IP</i> (静的 IP) に設定されている場合のみ、利用可能になります。</p>
Server Port	<p>ImageServer の主要な IP ポートを表示します。これはクライアントが通信するために使用します。デフォルトの IP ポートは、06910 です。</p> <p> メモ: このフィールドは、<i>System Configuration</i> (システムの設定) グループの <i>Integrated NIC</i> (統合 NIC) コントロールが <i>Enabled with ImageServer</i> (ImageServer で有効) に設定されている場合のみ、利用可能になります。</p>
Client Address Method	<p>クライアントによる IP アドレスの入手方法を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Static IP (静的 IP) • DHCP (デフォルトで有効) <p> メモ: このフィールドは、<i>System Configuration</i> (システムの設定) グループの <i>Integrated NIC</i> (統合 NIC) コントロールが <i>Enabled with ImageServer</i> (ImageServer で有効) に設定されている場合のみ、利用可能になります。</p>
Client IP Address	<p>クライアントの静的 IP アドレスを表示します。デフォルトの IP アドレスは 255.255.255.255 です。</p>


オプション	説明
	<p> メモ: このフィールドは、<i>System Configuration</i> (システムの設定) グループの <i>Integrated NIC</i> (統合 NIC) コントロールが <i>Enabled with ImageServer</i> (ImageServer で有効) に設定されており、<i>Client DHCP</i> (クライアント DHCP) が <i>Static IP</i> (静的 IP) に設定されている場合のみ、利用可能になります。</p>
Client SubnetMask	<p>クライアントのサブネットマスクを表示します。デフォルトの設定は 255.255.255.255 です。</p> <p> メモ: このフィールドは、<i>System Configuration</i> (システムの設定) グループの <i>Integrated NIC</i> (統合 NIC) コントロールが <i>Enabled with ImageServer</i> (ImageServer で有効) に設定されており、<i>Client DHCP</i> (クライアント DHCP) が <i>Static IP</i> (静的 IP) に設定されている場合のみ、利用可能になります。</p>
Client Gateway	<p>クライアントのゲートウェイ IP アドレスを表示します。デフォルトの設定は 255.255.255.255 です。</p> <p> メモ: このフィールドは、<i>System Configuration</i> (システムの設定) グループの <i>Integrated NIC</i> (統合 NIC) コントロールが <i>Enabled with ImageServer</i> (ImageServer で有効) に設定されており、<i>Client DHCP</i> (クライアント DHCP) が <i>Static IP</i> (静的 IP) に設定されている場合のみ、利用可能になります。</p>
DNS IP Address	<p>クライアントの DNS IP アドレスを表示します。デフォルトの設定は 255.255.255.255 です。</p>
Domain Name	<p>クライアントのドメイン名を表示します。</p>
Advanced	<p>詳細なデバッグを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Verbose Mode (冗長モード) (デフォルトで有効)


表 13. System Logs (システムログ)

オプション	説明
BIOS events	<p>システムイベントログを表示し、そのログを消去することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ログのクリア

BIOS のアップデート

システム基板の交換時または更新が可能な場合、BIOS (システムセットアップ) をアップデートされることをお勧めします。ラップトップの場合、お使いのコンピュータのバッテリーがフル充電されていて電源プラグに接続されていることを確認してください。

1. コンピュータを再起動します。
2. dell.com/support にアクセスします。
3. サービスタグやエクスプレスサービスコードを入力し、送信をクリックします。

 **メモ:** サービスタグを見つけるには、**Where is my Service Tag? (サービスタグの検索)** をクリックします。

 **メモ:** サービスタグが見つからない場合は、**Detect My Product (マイプロダクトの検索)** をクリックします。画面上の説明に進みます。

4. サービスタグの検索または検出ができない場合、コンピュータの製品カテゴリをクリックします。
5. リストから **Product Type (製品のタイプ)** を選択します。
6. お使いのコンピュータモデルを選択すると、そのコンピュータの**製品サポートページ**が表示されます。
7. **Get drivers (ドライバを取得)** をクリックし、**View All Drivers (すべてのドライバを表示)** をクリックします。
ドライバおよびダウンロードページが開きます。
8. ドライバおよびダウンロード画面で、**オペレーティングシステム**ドロップダウンリストから **BIOS** を選択します。
9. 最新の BIOS ファイルを選んで **Download File (ファイルのダウンロード)** をクリックします。
アップデートが必要なドライバを分析することもできます。お使いの製品でこれを行うには、**Analyze System for Updates (アップデートが必要なシステムの分析)** をクリックし、画面の指示に従います。
10. 希望のダウンロード方法を以下から選択してくださいウィンドウで希望のダウンロード方法を選択し、**Download File (ファイルのダウンロード)** をクリックします。
ファイルのダウンロードウィンドウが表示されます。
11. ファイルをコンピュータに保存する場合は、**保存**をクリックします。
12. **実行**をクリックしてお使いのコンピュータに更新された BIOS 設定をインストールします。
画面の指示に従います。


システムパスワードおよびセットアップパスワード


システムパスワードとセットアップパスワードを作成してお使いのコンピュータを保護することができます。

パスワードの種類 説明

システムパスワード システムにログオンする際に入力が必要なパスワードです。

セットアップパスワード お使いのコンピュータの BIOS 設定にアクセスして変更をする際に入力が必要なパスワードです。


 **注意:** パスワード機能は、コンピュータ内のデータに対して基本的なセキュリティを提供します。

 **注意:** コンピュータをロックせずに放置すると、コンピュータ上のデータにアクセスされる可能性があります。

 **メモ:** お使いのシステムは、出荷時にシステムパスワードとセットアップパスワードの機能が無効に設定されています。

システムパスワードおよびセットアップパスワードの割り当て

パスワードステータスが**ロック解除**の場合に限り、新しいシステムパスワードやセットアップパスワードの設定、または既存のシステムパスワードやセットアップパスワードの変更が可能です。パスワードステータスが**ロック**に設定されている場合、システムパスワードは変更できません。

 **メモ:** パスワードジャンプの設定を無効にすると、既存のシステムパスワードとセットアップパスワードは削除され、システムへのログオン時にシステムパスワードを入力する必要がなくなります。

システムセットアップを起動するには、電源投入または再起動の直後に <F2> を押します。


1. システム BIOS 画面またはシステムセットアップ画面で、システムセキュリティを選択し、<Enter> を押します。
システムセキュリティ画面が表示されます。
2. システムセキュリティ画面でパスワードステータスがロック解除に設定されていることを確認します。
3. システムパスワードを選択してシステムパスワードを入力し、<Enter> または <Tab> を押します。
以下のガイドラインに従ってシステムパスワードを設定します。
 - パスワードの文字数は 32 文字までです。
 - 0 から 9 までの数字を含めることができます。
 - 小文字のみ有効です。大文字は使用できません。
 - 特殊文字は、次の文字のみが利用可能です：スペース、(")、(+), (.), (-), (.), (/), (:), (|), (\), (|), (')。

プロンプトが表示されたら、システムパスワードを再度入力します。
4. 入力したシステムパスワードをもう一度入力し、OK をクリックします。
5. セットアップパスワードを選択してシステムパスワードを入力し、<Enter> または <Tab> を押します。
セットアップパスワードの再入力を求めるメッセージが表示されます。
6. 入力したセットアップパスワードをもう一度入力し、OK をクリックします。
7. <Esc> を押すと、変更の保存を求めるメッセージが表示されます。
8. <Y> を押して変更を保存します。
コンピュータが再起動します。

既存のシステムパスワードおよび/またはセットアップパスワードの削除または変更

既存のシステムパスワードおよび/またはセットアップパスワードを削除または変更する前にパスワード状態がロック解除(システムセットアップで)になっていることを確認します。パスワード状態がロックされている場合、既存のシステムパスワードまたはセットアップパスワードを削除または変更することはできません。

システムセットアップを入力するには、電源投入または再起動の直後に <F2> を押します。

1. システム BIOS 画面またはシステムセットアップ画面で、システムセキュリティを選択し、<Enter> を押します。
システムセキュリティ画面が表示されます。
2. システムセキュリティ画面でパスワードステータスがロック解除に設定されていることを確認します。
3. システムパスワードを選択し、既存のシステムパスワードを変更または削除して、<Enter> または <Tab> を押します。
4. セットアップパスワードを選択し、既存のセットアップパスワードを変更または削除して、<Enter> または <Tab> を押します。
 **メモ:** システムパスワードおよび/またはセットアップパスワードを変更する場合、プロンプトが表示されたら新しいパスワードを再度入力してください。システムパスワードおよび/またはセットアップパスワードを削除する場合、プロンプトが表示されたら削除を確認してください。
5. <Esc> を押すと、変更の保存を要求するメッセージが表示されます。
6. <Y> を押して変更を保存しシステムセットアップを終了します。

コンピューターが再起動します。

仕様


 **メモ:** 提供される内容は地域により異なる場合があります。以下の仕様は、コンピュータに同梱で出荷することが法律により定められている項目のみ示しています。コンピュータの構成の詳細については、Windows オペレーティングシステムのヘルプとサポートにアクセスして、コンピュータに関する情報を表示するオプションを選択してください。

表 14. システム情報

機能	仕様
プロセッサのタイプ	<ul style="list-style-type: none"> Intel Core i3/i5 シリーズ Intel Celeron デュアルコア Intel Pentium デュアルコア
キャッシュ合計	プロセッサのタイプに応じて最大 6 MB キャッシュ
チップセット	Intel H81 チップセット

表 15. メモリ

機能	仕様
種類	最大 1600 MHz、バッファリング無し non-ECC、デュアルチャネル DDR3 構成
コネクタ	内部アクセス用 DDR3 SODIMM ソケット (2)
容量	2 GB、4 GB、および 8 GB
最小メモリ	2 GB
最大メモリ	16 GB

表 16. ビデオ

機能	仕様
ビデオコントローラ :	
内蔵	<ul style="list-style-type: none"> 内蔵 Intel HD グラフィックス 4600 - Intel Core i5 内蔵 Intel HD グラフィックス 4400 - Intel Core i3 内蔵 Intel HD グラフィックス - Intel Pentium/ Celeron デュアルコア
ディスクリート	AMD Radeon R5 A240
ビデオメモリ :	
内蔵	共有メモリ

機能	仕様
ディスクリート	1 GB DDR3

表 17. オーディオ

機能	仕様
コントローラ	ALC3661-CG (Realtek)
スピーカ	単一 4Ω、2 W AVG スピーカ (最大 2.5 W)
内蔵スピーカアンプ	チャンネル当たり最大 6 W
内蔵マイク対応	単一デジタルマイク
ボリュームコントロール	ボリューム上 / 下ボタン (Windows 7 のみ)、プログラムメニュー、およびキーボードメディアコントロールキー

表 18. 通信

機能	仕様
ネットワークアダプタ	システム基板上の Intel 10/100/1000 Mbps Ethernet LAN
Wireless (ワイヤレス)	ハーフミニカード <ul style="list-style-type: none"> Wi-Fi 7260 agn/ac

表 19. カード

機能	仕様
M.2	(1)

表 20. ディスプレイ

機能	仕様
種類	19.5 インチ HD+WLED
最大解像度	1600 x 900
リフレッシュレート	60 Hz
動作角度	170° (水平) / 160° (垂直)
ピクセルピッチ	0.27 mm
寸法 :	
高さ	236.30 mm (9.30 インチ)
幅	433.90 mm (17.08 インチ)
対角線	495.30 mm (19.50 インチ)

表 21. Drives

機能	仕様
ハードドライブ	2.5 インチ SATA ドライブ (1)
光学ドライブ (オプション)	DVD-ROM、DVD+/-RW (1)

表 22. ポートとコネクタ

機能	仕様
オーディオ:	ユニバーサルオーディオジャック/ライン出力ポート (1)
ネットワークアダプタ	RJ45 コネクタ (1)
USB 2.0	背面パネルのコネクタ (4)
USB 3.0	サイドパネルのコネクタ (2)
メディアカードリーダー	4-in-1 スロット (1)

表 23. 電源

機能	仕様
種類	180 W
周波数	50 Hz ~ 60 Hz
電圧	100 ~ 240 VAC
定格出力電圧	19.50 VDC
入力電流	最大 2.9 A
出力電流	+12.0 V 出力 (+12VA - 10A、+12VB - 14.5A)
	 メモ: スタンバイモードでは、定格が 0.4 A で +12VB。
寸法:	
高さ	30.00 mm (1.18 インチ)
幅	76.20 mm (3.00 インチ)
奥行き	155.00 mm (6.10 インチ)
重量	0.58 kg (1.28 ポンド)
温度範囲:	
稼働時	0 °C ~ 35 °C (30 °F ~ 95 °F)
保管時	-40 °C ~ 70 °C (-40 °F ~ 158 °F)
コイン型電池	3 V CR2032 コイン型リチウム電池

表 24. カメラ (オプション)

機能	仕様
イメージ解像度	0.92 メガピクセル
ビデオ解像度	720p @ 30 FPS HD
斜め可視角度	74 度

表 25. スタンド

機能	仕様
傾き	-5 ~ 30 度

表 26. 外形寸法

機能	スタンドなし	スタンド取り付け時
幅	489.92 mm (19.29 インチ)	489.92 mm (19.29 インチ)
高さ	328.84 mm (12.95 インチ)	385.58 mm (15.18 インチ)
奥行き :		
タッチスクリーンなし	67.62 mm (2.66 インチ)	204.58 mm (8.05 インチ)
タッチスクリーン付き	66.72 mm (2.63 インチ)	204.97 mm (8.07 インチ)
重量 :		
タッチスクリーンなし	4.18 kg ~ 4.37 kg (9.21 ポンド ~ 9.63 ポンド)	5.68 kg ~ 5.87 kg (12.52 ポンド ~ 12.94 ポンド)
タッチスクリーン付き	4.87 kg ~ 5.06 kg (10.74 ポンド ~ 11.15 ポンド)	6.37 kg ~ 6.56 kg (14.04 ポンド ~ 14.46 ポンド)
スタンド (幅 x 奥行き)	200.00 mm (7.87 インチ) x 200.00 mm (7.87 インチ)	



メモ: コンピュータの重量は、発注時の構成や製造上の条件により異なる場合があります。

表 27. コントロールおよびライト

機能	仕様
電源ボタンライト	白色のライト - 白色の点灯は、電源オンの状態を示します。白色の点滅は、コンピュータがスリープ状態であることを示します。
ハードドライブ動作ライト	白色のライト - 白色の点滅は、コンピュータがハードドライブからデータを読み取っている、またはハードドライブにデータを書き込んでいることを示します。
カメラ LED	白色のライト - 白色の点灯は、カメラがオンになっていることを示します。


機能	仕様
背面パネル：	
リンク保全ライト (内蔵ネットワークアダプター上)：	<p>緑色 – ネットワークとコンピュータとの間で 10 Mbps の接続が良好であることを示します。</p> <p>緑色 – ネットワークとコンピュータとの間で 100 Mbps の接続が良好であることを示します。</p> <p>橙色 – ネットワークとコンピュータとの間で 1000 Mbps の接続が良好であることを示します。</p> <p>オフ (消灯) – コンピューターはネットワークに物理的に接続されていないことを検出していません。</p>
ネットワーク動作ライト (内蔵ネットワークアダプター上)	黄色のライト – 黄色の点滅は、ネットワークが動作していることを示します。
電源ユニット診断ライト	緑色のライト – 電源が入っており、機能していることを示します。電源ケーブルは電源コネクタ (コンピュータの背面) とコンセントに接続してください。

表 28. 環境

機能	仕様
温度範囲：	
稼働時	5 °C ~ 35 °C (41 °F ~ 95 °F)
保管時	-40 °C ~ 65 °C (-40 °F ~ 149 °F)
相対湿度 (最大)：	
稼働時	10 ~ 90 % (結露しないこと)
保管時	10 ~ 95 % (結露しないこと)
最大振動：	
稼働時	0.66 GRMS
保管時	1.30 GRMS
最大衝撃：	
稼働時	110 G
保管時	160 G
高度：	
稼働時	-15.20 m ~ 3048 m (-50 ~ 10,000 フィート)
保管時	-15.20 m ~ 10,668 m (-50 ~ 35,000 フィート)
空气中浮遊汚染物質レベル	G2、または ANSI/ISA-S71.04-1985 が定める規定値以内

デルへのお問い合わせ

デルへのお問い合わせ

 **メモ:** お使いのコンピュータがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデルの製品カタログで連絡先をご確認ください。

デルでは、オンラインまたは電話によるサポートとサービスのオプションを複数提供しています。サポートやサービスの提供状況は国や製品ごとに異なり、国 / 地域によってはご利用いただけないサービスもございます。デルのセールス、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

1. dell.com/support にアクセスします
2. サポートカテゴリを選択します。
3. ページの上部にある 国 / 地域 の選択 ドロップダウンメニューで、お住まいの国または地域を確認します。
4. 必要なサービスまたはサポートのリンクを選択します。